

新車の緊急事態宣言

コロナ禍で 新車「納期の遅れ」顕著

車検満期までに購入できない人も

2021年9月の国内における新車販売台数は、前年の9月に比べて32%減少した。小型／普通車は30%、軽自動車は36%と大幅に減った。2021年7月は5%、8月は2%のマイナスだったことから、9月に入ってから大幅に落ち込んでいることが分かる。売れ行きを下げた原因は、コロナ禍の影響によって生じた「納期の遅れ」だ。

納期が伸びた二番の理由は、部品の供給が滞っていることだ。頻りに報道される半導体に加えて、ワイヤハーネスなども幅広く不足している。その結果、各メーカーともに減産や生産調整を強いられ、工場の操業停止も発生。従来通り

順調に生産しているメーカーはない。

またコロナ禍により自宅の滞在時間が増えて、パソコンなどの売れ行きが伸びたり、国や地域によっては二酸化炭素排出抑制のために火力発電所の稼働が抑えられ、生産が滞ったケースもある。コロナ禍に加えてエコロジイまで絡む。

新車需要の約80%が乗り

替えに基づいたため、新車の納期が遅れると、納車される前に、下取りに出す愛車の車検満期が満了すること

も考えられる。そうなると納車を待つために車検を取り直したり、下取り車を先に売却して、クルマのない生活を強いられたりする。愛車を売却して新車に乗り替える場合は、商談を早めに開始したいところだ。

自動車メーカー減産で 新車納期遅れ

TOYOTA
ヤリスコス



6ヶ月待ち

HONDA
ヴェゼル



6ヶ月～1年待ち

SUZUKI
スペーシア



3ヶ月待ち

- ・トヨタ自動車「ヤリス」のハイブリッド車は工場出荷まで6か月程度(8月時点)
 - ・ホンダ「ヴェゼル」は6か月～1年の納車待ち例も
 - ・スズキ「スペーシア」は3か月程度
- ※半導体不足の影響

中古車の取引価格上昇! いま、中古車が不足しています。

中古車オークションで7月の平均落札価格が前年同月比18.8%上昇

納期遅れで新車が手に入りづらくなり、
中古車の需給逼迫

車検に間に合わない顧客が新車を諦め
中古車へ

来年4月までに新車購入をご検討の方は今すぐご相談を!
早めのご注文をおすすめします!

早期
注文特典

2021年
12/27 まで

新車購入の方

下取額UP

普通車

30,000円 UP

軽自動車

20,000円 UP

※事故車、低年式車どんなクルマでもOK!(ただし、不動車は除く) ※車検キャッシュバックとの併用はできません